

生駒市ごみ減量市民会議(令和元年度第2回) 会議録(要旨)

1. 開催日時 令和元年6月7日(金) 午後1時30分～午後3時45分
2. 場 所 市役所4階401・402会議室
3. 会議次第  
報告事項  
(1) 広報いこまち 5月15日合併号掲載について  
協議事項  
(1) ごみ減量市民会議活動報告について  
(2) 生ごみ処理器「キエーロ」製作講座について  
日時 令和元年6月29日(土)・30日(日)  
(3) 夏休み環境自由研究「ごみキエーロしよう！」  
生ごみ処理器「キエーロ」製作講座について  
日時 令和元年7月20日(土)  
その他
4. 出席者(敬称略)  
【参加者】坂本 剛伸、藤堂 宏子、藤澤 清二、山田 龍三、永野 洋子、藤尾 庸子、  
下山 一則、山口 昭夫、清水 綾、奥田 高弘、小山 忠昭、藤中 章夫、  
寺井 孝幸、山村 浩之  
【事務局】奥田(市民部長)、奥田(環境保全課長)、木戸(環境保全課課長補佐)、  
大窪(環境モデル都市推進課課長補佐)、鳴川(環境保全課事業係長)、  
久保(環境保全課事業係)
5. 欠席者(敬称略) 田中 勝久
6. 傍聴者 0名
7. 会議内容(要旨)

案件

報告事項(1)

- 広報いこまち 5月15日合併号掲載について

事務局 <資料1 広報「いこまち」掲載 5月15日合併号について説明>

座 長 事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

広報分科会 今回の掲載については、広報分科会メンバーで出した掲載案を市の広報広聴課でレイアウト等を行っている。掲載後、自治会から「役に立つ」など意見をいただいている。今後の掲載内容は検討していく。

協議事項(1)

- ごみ減量市民会議活動報告について

座 長 今回会議での意見を踏まえ、7月の本会議で取りまとめ7月中に市に対し報告する。

資料2 ごみ減量市民会議3年間のまとめページ1 I. 生駒市ごみ減量市民会議の設置、II. 設置の趣旨、III. 参加者についてですが、この点についてご意見ありますか。

《参加者の意見なし》

座長 IV. 生駒市ごみ減量市民会議活動内容の①市民意識の把握の部分について、ご意見ありますか。

参加者 文章中の各数値を円グラフ等で表示すると分かりやすいのではないかと。

座長 2ページ②自治会単位の懇談会の実施の部分について、ご意見ありますか。

参加者 自治会懇談会で使用した説明資料や市民会議で作成したチラシを報告書の資料として添付してはどうか。

事務局 資料として添付する。

座長 3ページの③有料化の成果についてのPRと4ページの④生ごみの減量の部分について、ご意見ありますか。

座長 「エコクッキング開催」について生駒市健康づくり推進員連絡協議会の協力を得ているため、生駒市健康づくり推進員連絡協議会の名称を明記すべきではないかと。

参加者 「先進地視察(斑鳩町)」についてごみの処分を他自治体の業者に委託しており、表記に違和感がある。

事務局 「ゼロ・ウェイスト宣言を行っている自治体への視察」と文言を変更する。

座長 5ページ、⑤キエーロの普及の部分について、ご意見ありますか。

座長 アフターフォローのチラシを郵送後、キエーロ使用者からの反応はあったのか。また、市から電話連絡など行ったのか。

事務局 使用者からの連絡はなく、現在は市から連絡もしていない。

座長 今後は自治会懇談会などでフォローしていく必要があるだろう。

座長 5ページ、⑥資源ごみの分別の部分について、ご意見ありますか。

参加者 2ページ②自治会単位の懇談会の実施の内容と重複している。

参加者 現在、集団資源回収に取り組んでいる団体数など記載してはどうか。

事務局 内容を整理するとともに、集団資源回収団体数を記載する。

座長 6ページ、V. 活動評価のまとめ 1. 燃えるごみ減量の状況 (1)啓発のみでの減量化の限界部分について、ご意見ありますか。

座長 ごみを25%減量する目標については、当時の市長のマニフェストであり、ごみ減量市民会議に諮ったうえで会議の目標としていた。

参加者 平成25年度比、重量13%減少が、ごみ減量市民会議の活動によるものと読み取

れる。

参加者 ごみの有料化によりごみが減量したとあるが、有料化によらずともごみ量は減少していた。ごみの有料化がごみ減量の原因とは言えないのではないか。

参加者 燃えるごみの減少とは別に、リサイクル量を記載するのはどうか。プラスチック製容器包装は有料化以前の1.5倍、ミックスペーパーは100倍になっている。

参加者 ごみの有料化は分別してリサイクルしようという市民の意識に拍車をかけたと思う。

参加者 ごみ有料化の善し悪しについては、この会議で議論するものではない。

座 長 6ページ、(2)生ごみ分別処理の施策が無かった、の部分について、ご意見ありますか。

参加者 ごみ減量市民会議の活動とは関係ないのではないか。

座 長 目標のごみの25%減少に届かなかった理由のひとつとして記載している。

座 長 6ページ、(3)ごみ減量の重量と容量の結果の差、の部分について、ご意見ありますか。

参加者 ごみ減量の重量と容量の差の記述があるが、ごみ減量の話は行政では以前から重量で行ってきた。容量の記述をすれば論理のすり替えではないか。

座 長 自治会懇談会などで聞く市民の感覚では、ごみが減ったというのは重さよりも容量である。リサイクルできる資源ごみは、分別によりごみの容量を減らせるが、重さの4割を占める生ごみは努力してもあまり減少しないことが3年間の活動によりわかった。

参加者 3年間の活動により重量での減量に限界があることがわかった。

参加者 活動のまとめという表題であるが、啓発を真剣にやったのかと感じる。ごみの有料化施策を後押ししている文章に読み取れてしまう。

事務局 啓発の重要性については後に記述している。

座 長 7ページ、2.生ごみの減量について、の部分について、ご意見ありますか。

《参加者の意見なし》

座 長 7ページ、3.啓発活動の必要性、の部分について、ご意見ありますか。

参加者 自治会懇談会などの啓発をもっと実施すべきと思う。特に子どもたちへの啓発が大切ではないか。

参加者 子どもに対しては、小学校4年生で環境の授業があり、事業者の施設見学などで啓発を行っている。大人への啓発も大切である。

事務局 小学生に対し、清掃センターの見学、ごみ収集体験などによりごみの分別や環境について勉強してもらっている。

座 長 子どもへの教育の一環で実施している啓発について資料としてはどうか。

事務局 こちらでまとめたうえで、添付資料とする。

座 長 8 ページ、VI. 今後の取り組みの提案、の部分について、事務局から説明をお願いします。

事務局 後ほど説明する。

座 長 8 ページ、VII. 新たな生駒市一般廃棄物処理基本計画に向けての提案 の部分について、ご意見ありますか。

参加者 文中に「啓発だけではごみ減量の数値に大きな変化は生じにくい」とあるが、啓発は重要な活動であることから、表現を改めてもらいたい。

参加者 この提案項目については、メンバーそれぞれから提案されたすべての意見を掲載するか、会として一致した意見を掲載するか検討が必要。

座 長 3 年間活動してきた結果を踏まえて提案していきたい。

#### 協議事項(2)

##### ●生ごみ処理器「キエーロ」製作講座

事務局 日時 令和元年 6 月 29 日 (土)・30 日 (日)

場所 エコパーク 2 1 会議室

《参加者の確認》

#### 協議事項(3)

##### ●夏休み環境自由研究「ごみキエーロしよう！」

生ごみ処理器「キエーロ」製作講座

事務局 日時 令和元年 7 月 20 日 (土)

場所 生駒市役所 4 階大会議室

《参加者の確認》

#### その他

事務局 令和元年 8 月以降の取り組みについて

生駒市ごみ減量市民会議は活動期間を 3 年間としており、来月に活動期間を終了する。しかし、この市民・事業者・行政で構成される懇話会は他にはなく、この活動は継続したいと考えている。新しい一般廃棄物処理基本計画が令和 3 年度に策定され、新しい目標ができるまで、引き続きこの組織においてごみ減量に向けて啓発を継続していきたい。

##### ●次回の会議開催について

令和元年 7 月 16 日 (火) 午後 1 時 30 分から開始

以上です。  
本日の会議はこれで終了します。  
ありがとうございました。